

令和5年度 東京都立日比谷高等学校

すいせん
推薦に基づく選抜

小論文

(注 意)

- 1 問題は、2ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は**50分**で、終わりは**午後0時20分**です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 答えをすべて解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出**しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 **受検番号**を解答用紙の決められた欄らんに記入しなさい。

令和4(2022)年は、日本の鉄道が開業してから150年にあたる年であった。日本は他の先進国と比べると鉄道による旅客輸送の割合が高い国であるが、鉄道の経営状況については問題のある地方も存在する。次の問1、問2に答えなさい。

(*印の付いている語句には【注】がある。)

問1 次の図1は、令和4(2022)年11月にJR東日本が公表した利用者が極めて少ない鉄道35路線66区間の収支のうち、赤字額が大きい15区間を示したものである。これらの鉄道は、なぜ赤字が続いているのか。次ページの図2と図3を参考にして、その理由を200～240字で述べなさい。

【図1】赤字額が大きい路線・区間(2021年度)

△は赤字またはマイナス。

線名	区間	収支 (百万円)	*平均通過人員		
			1987年度 (人/日)	2021年度 (人/日)	1987年度 比の増減 率(%)
羽越本線	村上(新潟県)～鶴岡(山形県)	△4,998	5,690	853	△85%
奥羽本線	東能代(秋田県)～大館(秋田県)	△3,105	5,196	1,037	△80%
羽越本線	酒田(山形県)～羽後本荘(秋田県)	△2,778	4,393	680	△85%
奥羽本線	大館(秋田県)～弘前(青森県)	△2,422	4,175	742	△82%
津軽線	青森(青森県)～中小国(青森県)	△1,986	10,813	556	△95%
奥羽本線	湯沢(秋田県)～大曲(秋田県)	△1,759	5,404	1,256	△77%
五能線	能代(秋田県)～深浦(青森県)	△1,692	764	180	△76%
小海線	小淵沢(山梨県)～小海(長野県)	△1,671	1,038	300	△71%
山田線	上米内(岩手県)～宮古(岩手県)	△1,661	720	61	△92%
上越線	水上(群馬県)～越後湯沢(新潟県)	△1,592	3,267	672	△79%
五能線	深浦(青森県)～五所川原(青森県)	△1,570	1,290	389	△70%
大船渡線	一ノ関(岩手県)～気仙沼(宮城県)	△1,510	1,547	545	△65%
奥羽本線	新庄(山形県)～湯沢(秋田県)	△1,453	4,047	229	△94%
内房線	館山(千葉県)～安房鴨川(千葉県)	△1,341	4,536	1,350	△70%
八戸線	鮫(青森県)～久慈(岩手県)	△1,319	1,650	318	△81%

(JR東日本の資料より作成)

【注】 平均通過人員 — 1日1kmあたりの利用者数。

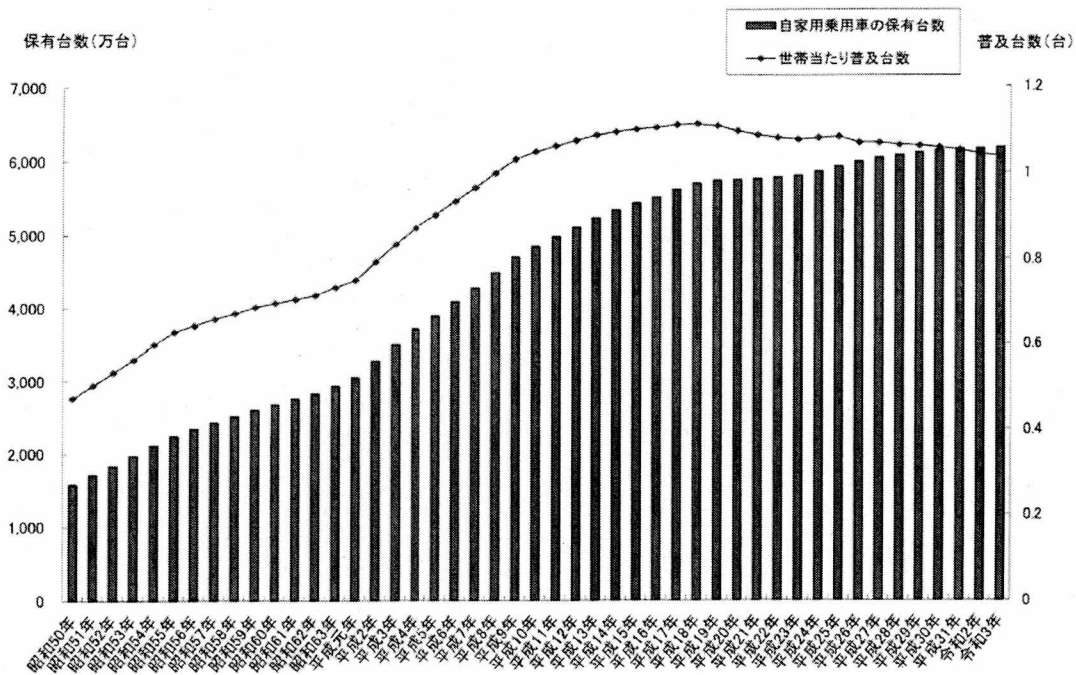
【図2】都県別人口と人口構成の推移(単位:千人)

*都 県	*総 数		0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上	
	1995 年	2021 年	1995 年	2021 年	1995 年	2021 年	1995 年	2021 年
青森	1,482	1,221	252	127	991	676	237	419
岩手	1,420	1,196	239	129	925	659	255	409
宮城	2,329	2,290	394	264	1,596	1,371	338	655
秋田	1,214	945	189	90	787	495	238	360
山形	1,257	1,055	209	117	799	576	249	362
福島	2,134	1,812	382	202	1,380	1,025	372	585
茨城	2,956	2,852	505	328	2,030	1,664	419	860
栃木	1,984	1,921	339	223	1,351	1,130	293	569
群馬	2,004	1,927	330	221	1,360	1,117	313	589
埼玉	6,759	7,340	1,090	860	4,977	4,480	681	2,000
千葉	5,798	6,275	916	727	4,225	3,800	652	1,748
東京	11,774	14,010	1,499	1,553	8,705	9,255	1,531	3,202
神奈川	8,246	9,236	1,232	1,071	6,098	5,789	908	2,376
新潟	2,488	2,177	407	242	1,626	1,213	455	723
山梨	882	805	146	91	585	463	151	252
長野	2,194	2,033	355	240	1,422	1,136	417	657

〔注〕 都県 — ここでは J R 東日本の営業区域。 (総務省統計局「日本統計年鑑 令和 5 年」より作成)

総数 — 四捨五入をしているため、年齢別人口の合計と一致しない場合がある。

【図 3】 全国の自家用乗用車保有台数と 1 世帯当たり自家用乗用車普及台数



(自動車検査登録情報協会の資料より作成)

問 2 公共交通機関の赤字問題と同じように地方が抱えている問題の事例を一つ挙げ、どのような点が問題になっているかを述べなさい。また、このような問題を解消するにはどのような方法が考えられるか、それぞれ具体的に、合わせて 340～400 字で述べなさい。